



第 10 号
発行 JA新潟厚生連
新潟医療センター
発行責任者 田中 憲一



感染防止対策室
感染管理認定看護師
桑原 正祐

感染対策の必要性和 認定看護師の関わり

医療現場の質の向上と専門性を高める目的で、様々な分野でのエキスパートとしての認定看護師が二十一分野存在します。この度、当院十一一年間の看護師経験を経た桑原正祐さんが感染管理認定看護師として配属されました。桑原さんご本人から、感染対策と認定看護師の関わりについてお話を伺いました。

皆さんこんにちは。感染管理認定看護師の桑原です。私は昨年五月から十二月までの七か月間感染管理認定看護師になるために勉強してきました。今年五月の認定審

査に合格し、現在は感染管理の専従看護師として活動しています。そこで、感染管理認定看護師の役割や関わりを少しお伝えしたいと思います。

感染管理認定看護師とは

感染症の原因はウイルスや細菌などの微生物です。その微生物たちは油断をするとすぐ繁殖します。また、微生物は目に見えないため、気づかないことが多く、気づいた時には感染症に罹っていたということが良くあります。感染対策では微生物が持ち込まれない、持ち出されないようにすることがとても重要になってきます。その方法を専門に学んできたのが感染管理認定看護師です。

感染管理認定看護師の役割と関わり

皆さんは『病院で行われている感染対策』についてどのくらいご存知ですか？

病院へ診察に行ったときや面会に行った際、マスクや手洗いのポスターを見たことがある方も多いと思います。あれも、感染対策の一環で、感染管理認定看護師の役割となっております。

また、手術や検査のために入院したのに、感染症に罹ってしまったということが少しでも減らせるように、病院の中で、消毒や手洗いなどを職員に説明していくのも感染管理認定看護師の役割となっております。

このように感染管理認定看護師がかかわることは病院の中では多種多様にあります。楽しさも皆さ

んに伝えられたらと思っています。感染はたった一人からでも拡大していますが、感染管理・感染対策となると、職員をはじめ面会の方や患者さんなど、みんなで足並みをそろえて取り組んでいかなければなりません。近年デングだのエボラだのMERSだの感染症が世界を震撼させています。日本が呑み込まれるのも時間の問題な気がします。しかし、わたしはみんな



当院における認定看護師の必要性和活動的な桑原さんを副院長の吉澤先生より紹介をして頂きます。

ICT(感染制御チーム)の活動は、院内感染サーベイランス、特定の感染症が疑われる場合に適切な隔離予防策を指導する、標準予防策や手洗いなどの職員教育、予防接種や健康診断を通じた職員への感染予防、消毒薬や清掃器具の選定・配置・使用方法教育と多岐に渡ります。これらの業務を円滑に進めるためには、インフェクションコントロールドクター(ICD)、感染管理看護師(ICN)の存在は欠かせません。昨年十二月に、当院では桑原看護師が感染管理の研修を終了し、ICNとして着任しました。すでに院内の各部署をくまなく周り、ICNの業務を推進している桑原さんですが、元気の良さ、その大きな声でその存在を

の力でこの脅威に立ち向かい、打ち勝っていきたいと思います。

感染防止対策室
感染管理認定看護師
桑原 正祐



ご存じのことかと思えます。桑原ICNはこの度、めでたく日本看護協会の認定資格である、感染管理認定看護師の資格を取得されました。より大きな声で、当院のより良い感染制御を達成するため、桑原ICNの今後の活躍が期待されます。

副院長 吉澤弘久



(裏面もご覧ください)

こぼり園 デイケアの紹介

新潟医療センターに隣接するこぼり園では、毎週月曜日から金曜日の日中にリハビリや入浴介助等を行わせて頂く、デイケアサービスがあります。対象になる方は、介護保険の要支援・要介護認定を受けている方になります。

現在、こぼり園では十数名の利用者さんが居り、一日に利用されている方は数名となっております。部屋も小規模であり、こじんまりとしています。静かにゆっくりと過ごされたい方にはお勧めです。お話しが好きな方やリハビリをして体を動かしたい等の希望がある方は、お気軽にご相談ください。施設見学等も随時行っております。興味のある方は、支援相談員までお気軽にお声かけください。



楽しそうに過ごす利用者さんの様子

こぼり園 植草翔太郎

イブニング外来始めました

婦人科に引き続き小児科も



イブニング外来とは通常の診療時間を終えた十七時〜十九時に開いている外来のことです。

当院では昨年四月より毎週木曜日に婦人科外来を開始しました。最初はなかなか患者さんに周知されず、診察希望者が増えませんでした。今では十人弱の患者さんが診察に來られるようになってきました。「仕事帰りに受診でき、仕事も休まなくて良いのでとても助かる」との声が多数聞かれるようになりました。田中病院長が担当しますのでぜひ必要な方は受診してくださいね！

さて産婦人科の高評価を受けて、患者サービスの 일환として今年六月より小児科でもイブニ

ング外来を行うことになりました。毎週木曜日十九時まで、当院通院中の慢性疾患患者様を診察します。「学校をどうしても休めない」、「受診したくても都合が合わない」など、是非予約してご利用してください。

外来師長 今井延枝



小児科イブニング外来担当 高見暁先生

病院探索

365日
リハビリテーションを
始めました

「日曜日や祝日もリハビリができてありがたい」と患者さん、ご家族の皆さんの声、「日曜日、祝日とリハビリがあることで患者さんが横になつている時間を減らせて嬉しい！」と看護師や介護士の声、「毎日リハビリをすることで身体・認知機能の維持・向上、日常生活動作の獲得に繋がります」との、リハビリスタッフの声が聞こえてきます。

四月一日より回復期リハビリテーション病棟において三百六十五日リハビリテーションを開始して、早二か月が経過しました。私たちリハビリ職員は日曜日、祝日の勤務が始まり、毎日の患者さんの状態を確認することができたり、ご家族の方にお会いすることができたりと、ようやく新しいリズムに慣れてきたところです。

当病棟の特徴は医師、歯科医師、看護師、介護福祉士、医療相談員、栄養士、リハビリスタッフなどが共に連携しながら、患者さんひとり一人に合わせた対応で日常生活を支援し在宅復帰を目指しております。

主任理学療法士 飯田晋



編集後記

鬱陶しい梅雨がまだまだ続いていますね。この梅雨を乗り切れ、太陽が主役の夏がやってきます。みなさん、体調管理には十分気をつけて、今年の夏を乗り切りましょう。(記事・木歩士)

